

## 魅力と特色づくりアンケート結果について

### 1. 基準となる指標について

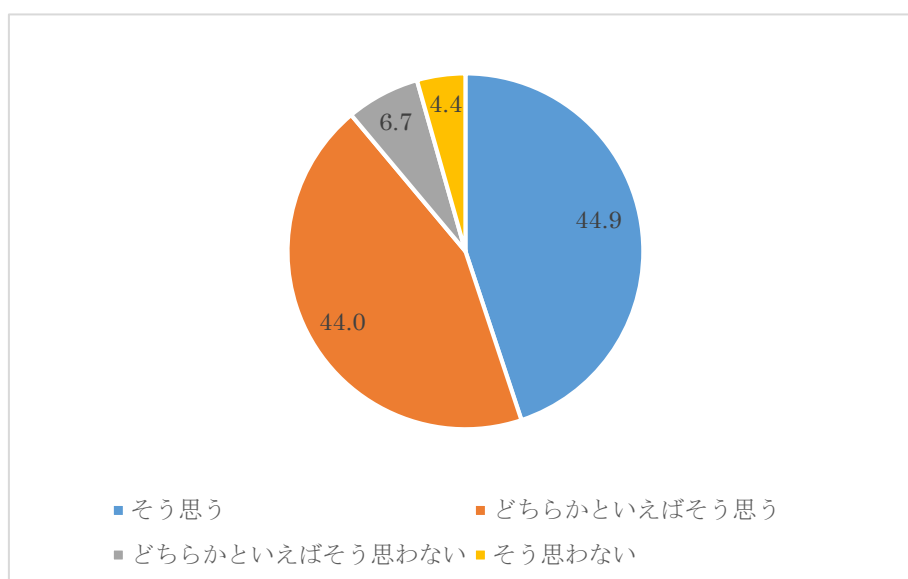
「魅力と特色づくりアンケート」のうち、「高校生活において、課題の発見と解決に向けて、主体的に考えたり、発表しあうなどの協働的な学習活動を行うことによって、中学生との時よりも思考力・判断力・表現力等を高めることができましたと思いますか。」の問いに対する高校生の割合を指標とし、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した者の変化を見た。

### 2. 指標の結果について

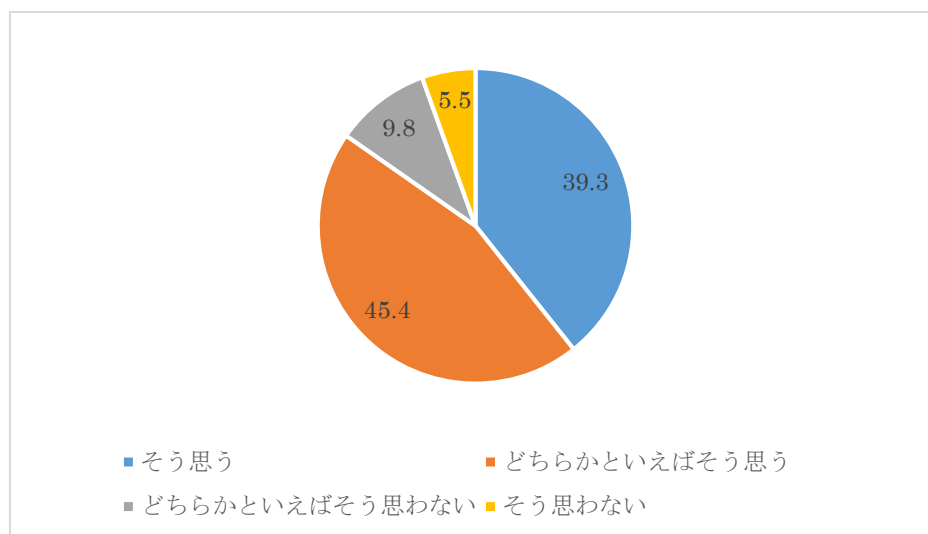
令和4年3月に卒業した生徒の回答結果は、そう思う 44.9%、どちらかといえばそう思う 44.0%で二つを合わせると 88.9%であった。

令和5年3月に卒業した生徒の回答結果は、そう思う 39.3%、どちらかといえばそう思う 45.4%で二つを合わせると 84.7%となり、令和4年度よりも 4.2ポイント下がる結果となった。

#### ●令和4年3月卒業生（2期生）の結果



●令和5年3月卒業生（3期生）の結果



3. 結果の分析について

令和5年3月に卒業した生徒は、令和2年4月に入学して以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校生活に様々な制限が入り、授業の実施についても自宅でのオンライン授業を実施したことなどが影響したと考えられる。